

「ベトナム社会科学院・ハノイ国家大学サマースクールプログラム参加報告書」

京都大学文学部2年 (石川 侑希)

①学習成果

今回このプログラムに参加したのは、今後の自分の進路について考えるきっかけを得るため、という大雑把な目的があった。入学前から「大学に入ったら留学したい」と思っていたが、学部で勉強したいこともまだあまり決まっておらず、今後の進路をどうするのか、そこに留学という選択肢はありうるのか、ということをはんやりと考えるだけになってしまっていた。そんな時にこのプログラムを見つけて、とりあえず海外でしばらく勉強する機会を作ってみようと思い、参加を決めた。

高校の世界史などでもベトナムの歴史には触れていたが、教科書で読むのと実際に行って学ぶのとでは全く違うということを実感した。そもそもベトナムの歴史や文化・社会を詳しく学ぶ機会が日本ではあまりないが、実際に街や人々の様子を見て、それについて説明を受けたりすることで身をもって学ぶことができた。

またこのプログラム中、他の参加者からかなり刺激を受けた。私自身は海外に行くのが2回目と、参加者の中ではかなり少ない方だったが、他の方は皆海外経験が豊富で、留学の経験やこれまでに行った国の話などを聞くことができ、渡航前からかなり刺激を受けた。ベトナムに到着してからも英語の能力の高さに感嘆するばかりだった。現地の大学での授業や、学生と交流する際にも「その国について知りたい」という強い意欲が感じられた。

また、ベトナムの学生と交流していても発見することや学ぶことが多かった。日本語や日本文化を学んでいるという彼らは目を輝かせて「日本が大好き」「いつか日本に行きたい」と語っていた。なかなかベトナムの人々と交流する機会というのではないが、ベトナムから日本はどのように見えているのか知ることができた。数人の学生と仲良くなり、観光に連れて行ってもらったりもしたが、博物館などではベトナムの歴史を解説してくれた。もし逆の立場だったらあのように解説できるだろうか、と考えさせられた。

所属する文学部では将来西洋文学を専攻しようと思っている。今回このプログラムで得られた経験を活かして、研究対象とする地域にも実際に行ってみるなど、その場所を深く知る努力をしたいと思った。

②海外での経験

今回失敗したと思ったのは、渡航前にあまりベトナムについて勉強していかなかったことである。高校の世界史で学んだわずかな知識もあまり覚えておらず、歴史博物館で解説をしてもらってやっと思い出す程度だった。写真で見た古い銅鼓などは「見たことがある！」と気付けたが、だからこそちゃんとベトナムの歴史を復習して臨めばもっと楽しめただろうと思った。

また、日本と違う環境(水や空気、食べ物、街の様子など)に戸惑い、うまくなじめないこともあった。海外に慣れている他の参加者はむしろそれを楽しんでいたようだったので、見習いたいと思った。

③プログラム内容

現地の大学ではベトナムの文化や歴史など、今まであまり知らなかったことを学ぶことができた。例えば17世紀のベトナムと日本の商業関係の授業では、ベトナムを中心に世界史を論じるという新鮮な体験をした。また、ベトナム語や日本語の授業でベトナム人学生たちと交流する機会が多くあった。現地の学生は日本語を学んでいるとはいえ、私たちの会話レベルとは程遠い。彼らに分かりやすい日本語で話したり、日本や京都について説明することで、自分は日本のことを本当にちゃんと理解できているのかと考え直すいい機会になった。また、「日本人の価値観」というテーマでプレゼンをすることになったが、日常あまり考えることのない事柄(美意識、恥文化など)について考え直すことができた。

他にも実地研修や自由時間に様々な場所を訪れたが、いずれもベトナムの学生やガイドの方に案内してもらえて、ただ観光に行くだけでは分からないようなことまで学ぶことができた。ドンラム村やチャンアンではベトナムの仏教文化に触れることができ、日本と似ている点も異なる点も発見することができた。伝統的な暮らしを守っているというドンラム村では、政府がツアーを奨励しているとあって土産物屋が並ぶなど観光地のような面もあり、伝統を守ることの難しさを知った。

SEND プログラムの基本的な趣旨は「海外の国と文化交流をし、互いの国に関する知識を深め、日本を再発見する」ということだったが、普段は当たり前すぎて考えることもないようなことを自分たちで調べたり、ベトナムの学生から教えられたりと、いい機会だった。

④進路への影響

現地の学生と交流する中で、彼らは明確な夢や目標を持っていて、それに向かって一生懸命勉強しているという印象を受けた。「将来は何をしたいですか」と訊かれ、「まだ決まっていない」と答えるとよく分からない、という顔をされてしまったが、無理もないと思った。まずは自分の進路の上での目標を見つけたいと思う。

また、今回のプログラムで自分の海外経験の少なさを実感したので、これから様々な国に行ってみたいと思う。そこで出会う人々との交流のため、その国の言葉や歴史についての勉強もこれからはしっかりと行いたい。